



東京海上日動

空飛ぶクルマに 関する取組ご紹介

2021年5月21日

東京海上日動火災保険株式会社

1. 東京海上日動の想い・組織体制



東京海上日動の想い・パーパス

弊社の
めざす姿

100年後もお客様や地域社会の
“いざ”を支える会社
“To Be a Good Company”

Value

創業時から変わらない
事業の目的

「お客様や地域社会の
“いざ”という時を支える」
という当社の事業の目的
は、どのような時代にあ
っても変わらない

環境変化を見据えた
絶え間ない変革

変化する社会課題を 解
決するために、私たちの
課題解決のやり方は大胆
に変えていく

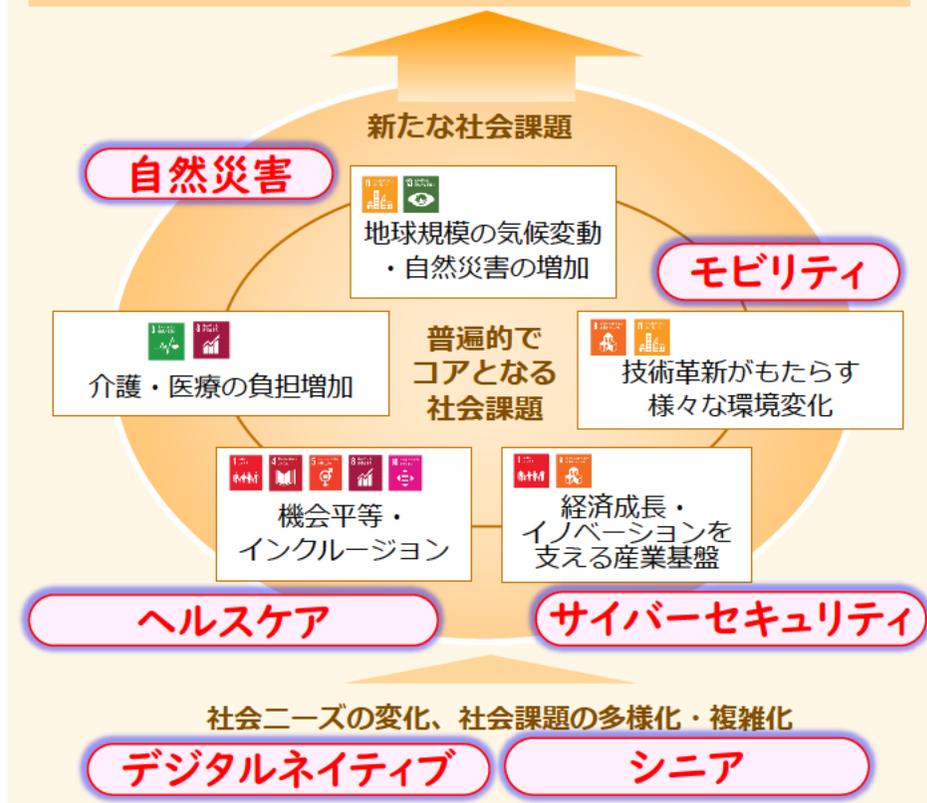
価値創造を支える基盤

培ってきた
グループの強み

強靱で透明性の
高いガバナンス

めざす
社会

誰もが安心・安全に生活し、
何事にも挑戦できるサステナブルな社会



東京海上日動 挑戦の歴史

お客様と社会の「いざ」を支えるために、挑戦し成長してきた140年の歴史

お客様・社会のニーズの変化を先取りした商品のご提供を行ってきました。

1914年

日本初の
自動車保険
提供



自動車保険バッジ
(1926年頃)

1937年

日本初の
航空保険
提供

1957年

日本初の
賠償責任保険
提供

2002年



超保険

2012年



ちょいとり
保険

2017年



DAP

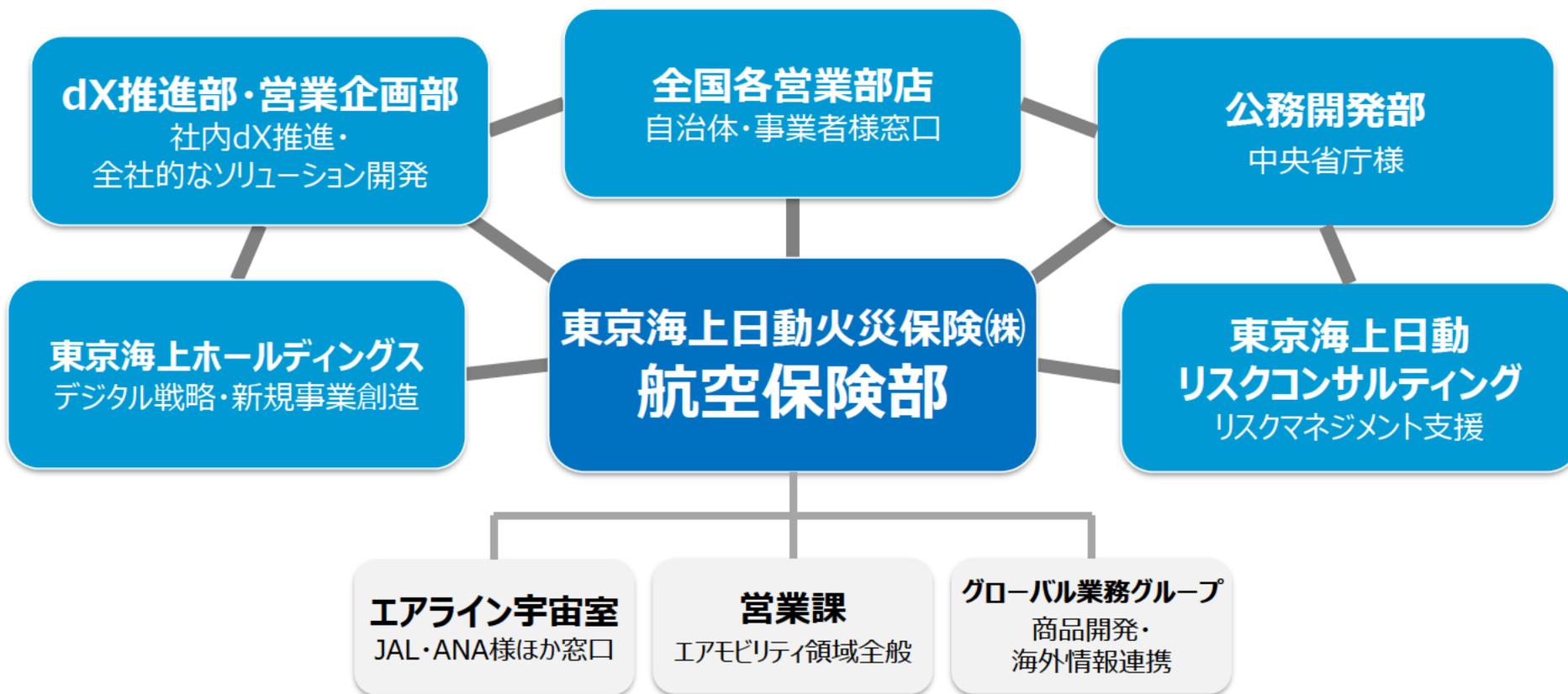
2019年

日本初の
空飛ぶクルマ
保険提供

東京海上日動 保険料の推移*



空飛ぶクルマの推進における弊社組織体制



全社横断での連携を通じて、空飛ぶクルマの社会実装を目指して取り組んでいきます。

2. 空飛ぶクルマ領域において果たしたい役割



空飛ぶクルマ実装社会実現に向けたアプローチ

航空機やドローンの利活用を通じて業界として培ってきた知見の活用と、空飛ぶクルマ特有のリスクの検討を両輪で進めていく必要があると考えています。

既存のビジネスで培った知見の活用

航空領域

- 安全な運航ノウハウ
- 適切な飛行ルートの設定
- **事故データを活用した事故傾向の分析**



産業全般

- **事故データを活用した事故傾向の分析・事故事例に基づく各種コンサルサービス**

次世代エアモビリティ事業特有のリスクの検討

空飛ぶクルマ

- これまでの航空ビジネスを通じて蓄積してきた知見
- +
- 空飛ぶクルマ特有のリスクを踏まえた検討



ドローン

レベル4の実現に向けた各種取組

- 運航ノウハウ
- 自律飛行
- UTM連携
- 大型産業用ドローンの活用
- **事故データを活用した事故傾向の分析**



空飛ぶクルマ社会実装に向けて果たしていく役割

リスクマネジメントの標準化

空飛ぶクルマの実証実験・社会実装に向けて、発生し得るリスクを網羅的に整理し、リスクマネジメントの標準化を実現することで、社会の基盤インフラとして事業者の皆様にご活用いただけるアウトプットの創出を目指します。

標準的なリスクマネジメント手法の確立

リスクコンサルティング

実証実験への参画を通じたユースケース単位でのリスク分析、リスクの定量化を通じて、事故の無い安全な実証実験・事業遂行に向けた総合的なリスクコンサルティングサービスの提供を目指します。

専用のリスクコンサルティングサービスの確立・提供

適切な保険制度・商品の設計及び開発

事業者の皆様が抱えるリスクに対応し、空飛ぶクルマ事業の持続的発展を支え、万一の際の被害者救済を担う保険制度・商品の設計及び開発し、安心して実証実験・事業を行える環境の提供を目指します。

社会実装に向けた動きにマッチした保険商品の開発・提供

空飛ぶクルマの実現には、皆様に「安心・安全」を感じていただくことが不可欠と考えております。

社会受容性の向上に貢献できるような仕組みづくりを推進・支援していきます。

3. 取組状況



万一の事故に備えた「空飛ぶクルマ専用保険」の提供

国内で初となる空飛ぶクルマ専用保険を開発し、事業者の皆様へ提供しています。

2019年3月28日

東京海上日動火災保険株式会社

“空飛ぶクルマ”を開発中の企業に保険を提供開始
～実用化に向けた最先端の研究開発を支援する取組み～

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長:北沢利文、以下「当社」)は、国内で“空飛ぶクルマ”の試験飛行・実証実験を目指す企業に、保険の提供を開始しました。
今後、技術進展のプロセスで得られる知見をもとに、随時新たな補償・サービスの開発も検討してまいります。

保険の概要

機体の損傷

搭乗者傷害

対物賠償

対人賠償

 SKYDRIVE



 tevera



今後保険商品の開発検討が必要なリスク(例)

被害者救済に
関わるリスク

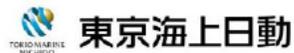
充電・バッテリー管
理に関わるリスク

離発着場に
関わるリスク

通信・UTM
関わるリスク

新規事業創出に向けた取組（自治体・事業者との連携）

三重県内での空飛ぶクルマ実用化に向けた、包括協定を締結しました。



令和2年（2020年）10月29日

エアモビリティ株式会社

東京海上日動火災保険株式会社

三重県

エアモビリティ、東京海上日動火災保険、三重県

「空飛ぶクルマ」に係る実証実験ならびに実用化に向けた包括協定締結を行います

エアモビリティ株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長：浅井 尚）、東京海上日動火災保険株式会社（東京都千代田区、取締役社長：広瀬 伸一）、三重県（三重県津市、知事：鈴木 英敬）の三者は、「空飛ぶクルマ」にかかる三重県内での実証実験、実用化に向けて連携して取り組むことを目的に、包括協定を締結することとしました。



ご清聴ありがとうございました。